

テーマ	スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）の根絶
-----	----------------------

1. 解決したい課題の内容について

昭和の時代に食用として輸入し養殖をしていたスクミリンゴガイが水田や用水路に住み着き、田植え直後の若い苗を食してしまう被害が深刻な状況です。十数年までは市内北部の平野部のみの被害でしたが、後継者不足から平野部の農家が南部の中山間地の耕作や作業受託と共に機械に付いた個体が定着繁殖し、被害は市内全域になってきています。農家は、農薬等の散布や冬季の耕起で削減に努めていますが、温暖化による越冬個体の増加で中々思うように減っていない状況です。

2. 実現したい目標について

農家に負担なく（金銭面、労力）スクミリンゴガイを駆逐すること。

3. 必要とする技術について

スクミリンゴガイの繁殖を抑える装置などや個体を死滅させる装置などの開発。

4. 想定する実証実験（内容・希望時期等）について

スクミリンゴガイが越冬する冬から初夏の田植時期

5. 協力者、実証実験の場所等について

宇佐市内の米農家

6. 課題に関連する事業のホームページ URL